

● 活動理念: ~その人らしく生きるための支援を目指す~

1. 患者, 家族が一日一日を有意義に過ごせるための時間と空間の提供
2. 多職種により, 家族を含めた包括的なチームケアを提供
3. QOL の維持向上が図れるよう力を注ぐ
4. あたりまえの医療・ケアとして普及するよう, 医療者の教育・啓発活動に取り組む
5. 緩和医療における地域連携の構築に努め, どのような場所でも緩和ケアが適切に提供される環境を整える

● 活動状況

1. 活動内容

- ・症状マネジメントのコンサルテーション
- ・院内オピオイド使用状況の把握と助言, 介入
- ・PCT 症例カンファレンス
- ・緩和ケア勉強会の企画
- ・緩和ケアの啓発活動
- ・帰宅あるいは緩和ケア病棟転院のリクルート

2. 2019 年度緩和ケアチーム活動実績

オピオイド回診

| | 2018 | 2019 | |
|-----------------------|------|------|---|
| 回診回数 | 48 | 50 | 回 |
| のべカンファレンス対象者数 | 1116 | 1297 | 人 |
| 1 回の回診におけるカンファレンス対象者数 | 23.3 | 25.9 | 人 |
| 1 回のカンファレンスにおける参加人数 | 18.9 | 18.6 | 人 |
| 1 回のカンファレンスにおける参加業種数 | 5-7 | 5-7 | |
| 1 回のカンファレンスにおける参加診療科数 | 2-4 | 2-4 | 科 |

| 臓器別 | のべカンファレンス対象者数 | | 1 回の回診におけるカンファレンス対象者数 | |
|----------|---------------|------|-----------------------|------|
| | 2018 | 2019 | 2018 | 2019 |
| 呼吸器がん | 283 | 373 | 5.9 | 7.5 |
| 消化器癌がん | 182 | 207 | 3.8 | 4.1 |
| 血液がん | 234 | 369 | 4.9 | 7.4 |
| 頭頸部がん | 119 | 118 | 2.5 | 2.4 |
| 泌尿器がん | 82 | 51 | 1.7 | 1.0 |
| 乳腺・甲状腺がん | 26 | 19 | 0.5 | 0.4 |
| 婦人科がん | 6 | 11 | 0.1 | 0.2 |

| | | | | |
|----------|-----|----|-----|-----|
| 原発不明・その他 | 71 | 53 | 1.5 | 1.1 |
| 非がん | 119 | 96 | 2.5 | 1.9 |

緩和ケア回診

| | 2018 | 2019 | |
|----------------------|------|------|---|
| 回診対象者数 | 212 | 206 | 人 |
| のべ回診回数 | 2352 | 2623 | 回 |
| 回診対象者1人におけるフォローアップ回数 | 11.1 | 12.7 | 回 |
| 緩和ケア診療加算 算定回数 | 784 | 1229 | 回 |

3. 2019年度緩和ケア対策室主催の研修会

| 年 | 月日 | 研修会名 | 題名・内容 |
|------|-------|---------------------------|--|
| 2019 | 10/27 | 岡山県緩和ケア研修会 | がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 |
| | 11/21 | 岡山医療センター 令和元年度 緩和ケア研修会 | NPO 法人愛媛がんサポートオレンジの会理事長 一般社団法人全国がん患者団体連合会副理事長 松本 陽子 先生講演 「『わたしらしく』を支える医療への期待」 |

4. がんサロン(ほのぼのサロン)

| 年 | 月日 | 題名・内容 | |
|------|-------|--------------------|----------------|
| 2019 | 7/9 | 痛みについて | 市 がん性疼痛看護認定看護師 |
| | 9/10 | 緩和ケアについて | 山下 がん看護専門看護師 |
| | 11/12 | 自宅でできるリハビリとストレッチ体操 | 池内 作業療法士 |
| 2020 | 1/21 | お食事に困っていませんか? | 中西 管理栄養士 |
| | 3/10 | がん治療とお口のケア | 松尾 歯科衛生士 |

● 研究業績

1. 学会

- 岡山医療センターにおけるがん患者へのオピオイドの使用状況と今後の課題
宮武和代、藤原慶一、岸口武寛、市由美子、三嶋美穂、小野友香、田頭尚士、中西初実、熱田幸子
第24回日本緩和医療学会学術大会、2019年6月22日
- 当院における入院時症状スクリーニングについての検討
—緩和ケアを必要とする患者に緩和ケアチームが介入するために—
宮武和代、藤原慶一、岸口武寛、三嶋美穂、小野友香、市由美子、黒原かおり、高淵陽子、吉田陽子、松尾敬子、熱田幸子
第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日
- 複数の診療科医師と緩和ケアチームにより終末期の肺癌患者と家族の希望を支援しえた1例
—管理栄養士の関わりを中心に—
熱田幸子、中西初実、市由美子、黒原かおり、高淵陽子、三嶋美穂、小野友香、吉田陽子、松尾敬子、古立真一、宮武和代
第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日

4) 終末期乳がん患者の呼吸困難にヒドロモルフォンが著効した1例

三嶋美穂、小野友香、田頭尚士、宮下広大、池内克馬、中西初実、熱田幸子、市由美子、
秋山一郎、藤原慶一、宮武和代

第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日